

飲料ビジネスの未来を創造します

Coca-Cola West

コカ・コーラ ウエスト 株式会社



Coca-Cola

Trademark Reg

株主・投資家のみなさまへ

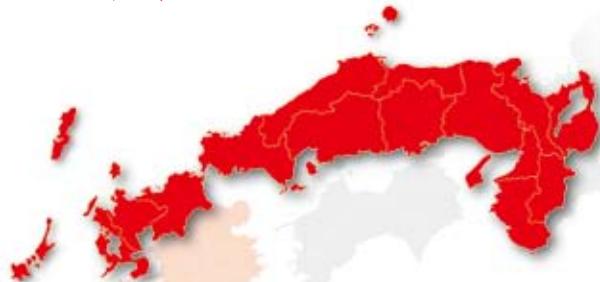
第51期 事業報告書

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで

証券コード:2579

平成21年1月1日
「コカ・コーラウエスト株式会社」発足

Coca-Cola West



平成20年11月27日、臨時株主総会にて、合併契約承認の件が決議されました。
コカ・コーラウエストホールディングス株式会社、コカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社ならびに三笠コカ・コーラボトリング株式会社は、「世界のリーディングボトラー」となるための活動をより一層推し進めるため、平成21年1月1日をもって合併し、「コカ・コーラウエスト株式会社」が発足いたしました。

Contents

合併のご報告.....	01	連結財務諸表	09
株主・投資家のみなさまへ	02	自己株式取得のご報告.....	11
経営統合を活かした取り組み	03	株主優待制度	12
主な営業の取り組み.....	05	株式の状況	13
トピックス	07	会社情報.....	14
地域社会貢献活動/環境推進活動.....	08		

株主・投資家のみなさまへ

株主・投資家のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第51期(平成20年12月期)の業績をはじめ、当社グループの方針や戦略をご報告させていただきます。

第51期の経営概況と業績

当期における清涼飲料業界は個人消費が冷え込む中で各社間の販売競争が激化するとともに、原油・原材料価格の高騰の影響を受けるなど、取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しております。

当社グループはこのような厳しい経営環境の中、すべての価値基準を「お客さま基点」として、常に競争を上回る価値を提供し続け、10年、20年、30年と成長・発展し続けるべく策定した、中期経営計画「*Wing*」の達成に向け、グループ一丸となって種々の活動に取り組みました。

その結果、当期における連結売上高は、3,955億5千6百万円(前年同期比3.4%減)となりました。利益面につきましては、天候不順や経済情勢の悪化による消費の冷え込みなどの影響を受け、営業利益は105億2千1百万円(同比34.5%減)、経常利益は110億4千8百万円(同比36.8%減)となりました。なお、当期純利益は、経営統合効果を創出すべくグループ再編へ向けて取り組んだコストや、保有する国内株式の時価下落による投資有価証券評価損の計上もあり1億2千9百万円(同比98.6%減)となりました。

当期の取り組み

まず、平成18年7月の近畿コカ・コーラボトリング株式会社との経営統合効果を創出すべく、エリア別に分かれていた同一機能の会社を統合いたしました。平成20年1月1日付で、当社グループにおいて製造を担当していた2社を統合し、新会社「コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社」としてスタートいたしました。また、平成20年4月1日付で、当社グループにおいて自動販売機のメンテナンスサービスを担当していた会社および部門を統合し、新会社「コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社」としてスタートいたしました。さらに、より強固な経営基盤を確立し、営業・販売機能強化や間接コストの削減を推進するため、平成21年1月1日に当社とコカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社および三笠コカ・コーラボトリング株式会社を統合し、新会社「コカ・コーラウエスト株式会社」としてスタートしております。

また、従来全国コカ・コーラボトラーと日本コカ・コーラ株式会社の共同出資により設立したコカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社が担当していた製造・物流業務を平成21年1月よりコカ・コーラボトラーに移管することに伴い、西日本地域においては、当社が中心となって、需要変動に対する柔軟な対応や製造・物流コストの削減を実現すべく、新しい需給体制の準備を進めてまいりました。

営業面につきましては、北京オリンピックのワールドワイドパートナーと

してのメリットを活用した販売促進活動を展開するなど、基幹ブランドである「コカ・コーラ」「ジョージア」「爽健美茶」「アクエリアス」の徹底強化をはかりました。

CSR(社会的責任)推進活動におきましては、循環型社会の実現に向け準備を進めておりました廃棄自動販売機リサイクル施設を平成20年4月より稼働させております。また、地球温暖化対策としてグループ全体の「温室効果ガス削減計画」を策定し、グループを挙げて活動を推進しております。

以上のような活動に加え、資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため、当期において、6,165千株、144億1百万円の自己株式の取得を行いました。また、借入金を返済するなど資産の圧縮に努め、当期末の総資産は、前期末に比べ379億7千6百万円減少いたしました。

配当金について

平成20年12月期の期末配当金につきましては、通期の業績および今後の経営環境を勘案し、1株当たり22円とし、中間配当金を含めた年間配当金は、1株当たり43円とさせていただきます。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 社長兼CEO

末吉 紀雄

経営統合を活かした取り組み

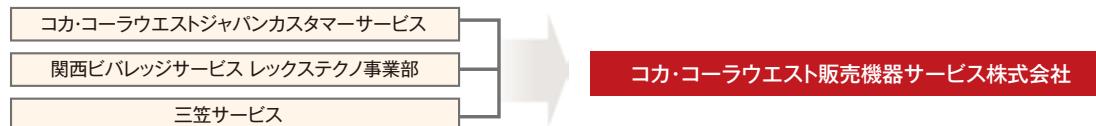
コカ・コーラウエストグループの再編

厳しい経営環境の中、すべての価値基準を「お客さま基点」として、常に競合を上回る価値を提供し続け、10年、20年、30年と成長・発展し続けるためにグループ一丸となって種々の活動に取り組んでいます。

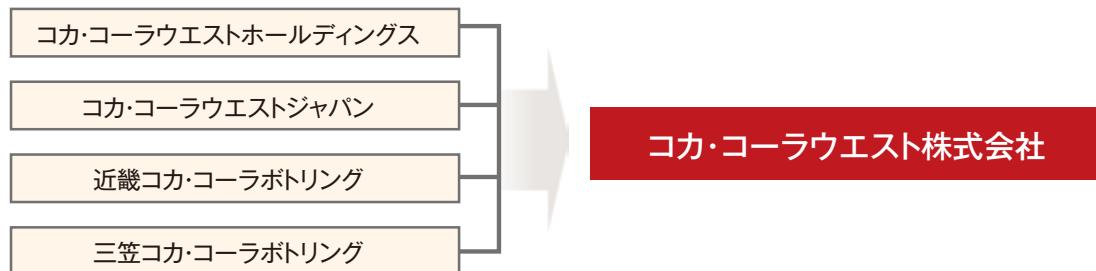
製造会社の統合（平成20年1月1日）



自動販売機メンテナンスサービスの統合（平成20年4月1日）



ホールディングスとエリア別販売会社の統合（平成21年1月1日）



※ 当社グループの経営資源を飲料ビジネスにより一層集中させるために、酒類の製造・販売事業を営む鷹正株式会社ならびに、外食・物販事業を営む株式会社シーアンドシーおよび株式会社アンジュ・ド・バージュの全株式を売却するとともに、食品の加工を営む株式会社ニチペイの事業を終了いたしました。

需給体制の見直し

全国のコカ・コーラシステムで一元化されている需給体制を見直し、当社グループを中心とした西日本における新たな需給体制の構築に積極的に取り組み、平成21年度より地域に根ざした迅速かつ高品質なサービスの提供を実現させる体制をスタートさせました。

当社の意思による「調達・製造・物流・販売・サービス」の一気通貫体制の実現



西日本エリアにおける新SCM体制

各社ごとの経営判断によるSCMを基本としながら、西日本エリアにおいては当社を中心としたSCM体制を構築する。

- 製造ライン数が多い当社を中心とした、西日本での最適な供給ネットワークを構築(生産・物流計画)
- 物流は、当社子会社「コカ・コーラウエストロジスティクス(株)」による取り纏めにて、物流効率化を推進

※ SCM……サプライチェーンマネジメント



西日本全体での
最適なSCM体制

主な営業の取り組み

ジョージアブランドの強化

新キャンペーン「ジョージア、今日も上出来。」

ジョージアの平成20年新キャンペーン「ジョージア、今日も上出来。」を2月4日から開始しました。ジョージアブランドの上出来な商品価値を表すと同時に、自分の人生は思っている以上に上出

来だ、というメッセージを込めたこのキャンペーンの露出をさまざまな売り場で徹底強化し、ブランド価値向上と販売数量拡大をはかりました。

基幹フレーバーリニューアル

ジョージアの基幹フレーバーの1つである「エメラルドマウンテンブレンド」の資産を活用して、3月31日に成長している無糖セグメントに新商品を投入し、販売数量の拡大をはかりました。

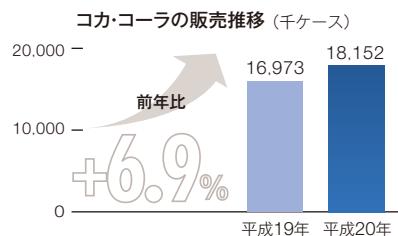
また、7月7日には同じく基幹フレーバーの「ヨーロピアン」をパッケージだけでなく、味もリニューアルし、微糖セグメントでの販売数量拡大をはかりました。



炭酸飲料の強化

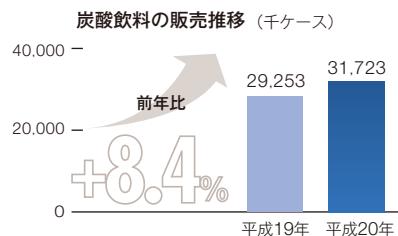
3カラー戦略の実行

「コカ・コーラ」「コカ・コーラ ゼロ」「ノーカロリー コカ・コーラ プラスビタミン」の3カラー戦略の継続展開により、前年に引き続き販売数量が拡大しました。



新しいスタイルの炭酸飲料「ファンタふるふるシェイカー」の導入

「ファンタ」は昭和33年に発売されて以来、昨年50周年を迎えた日本でNo.1のフレーバー炭酸飲料です。その「ファンタ」から炭酸飲料でありながら「振って飲む」というユニークな商品が誕生しました。この「ファンタふるふるシェイカー」の貢献もあり、炭酸飲料の販売は更に拡大しました。



自動販売機ビジネスの拡大と効率化

北京オリンピックのワールドワイドオリンピックパートナーとして、コカ・コーラ社しかできないオリンピックプロモーションやジョージアプロモーションを活用した営業活動の徹底により販売数量の拡大をはかりました。また、ITを搭載した自動販売機の導入により、売り切れや故障などによる最盛期での販売ロスの削減に努めました。

また、自動販売機の売上の一部を地域の社会貢献事業やイベント、スポーツ団体の活動資金として還元する支援型自動販売機は、411台増加し1,742台となりました。



オリンピックディスプレイ



支援型自動販売機

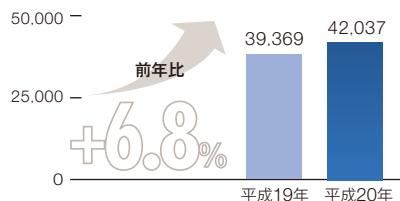


ジョージアプロモーション

マーケットシェアの拡大

チェーンストアチャンネルでは、市場の大きい大阪地区を中心に、「コカ・コーラ」「ファンタ」といった炭酸飲料に加え、市場規模が拡大している水カテゴリーを強化しました。また、お得さなどの関係強化による取扱商品の拡大をはかった結果、販売数量およびマーケットシェアを伸ばすことができました。

チェーンストアチャンネルの販売推移 (千ケース)



チェーンストアのマーケットシェア推移
(対前年同期増減)



コカ・コーラゼロ ファンタ オレンジ スプライト ミナクア

第1四半期
+0.1pt
UP

第2四半期
+1.5pt
UP

第3四半期
+0.7pt
UP

第4四半期
+1.6pt
UP

トピックス

平成21年の主な新商品／リニューアル

コカ・コーラ



ゼロ

赤いコカ・コーラロゴとともに
多様なパッケージを発売!

アクエリアス



ビタミンガード

クエン酸が入って
新登場!

ジョージア

エメラルドマウンテンブレンド



スタンダード



カフェオレ



ブラック

最も愛される香りとは品質を目指して
リニューアル!

ファンタ

ふるふるチャージ



グレープフルーツ



グリーンアップル

手軽にマルチビタミン補給!

環境負荷削減への取り組み

当社は、環境に配慮した軽量ボトルの導入や環境負荷の少ないノンフロン型自動販売機への切り替えを進めております。



環境に配慮した軽量2.0Lペットボトル



環境にやさしい自動販売機

地域社会貢献活動／環境推進活動

株主のみなさまのご理解をいただき、剰余金から一定額を積み立てて活動資金に充当しております地域社会貢献活動および環境推進活動についてご報告いたします。

● 地域社会貢献活動

「地域とともに」を基本姿勢に、「社会福祉支援」「スポーツ活動支援」「文化・教育活動支援」「地域大型イベント支援」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や地域とのより密接なコミュニケーションを実施しております。

当期の主な活動としては、特別支援学校へのパソコンなどの教材贈呈、小学校への一輪車贈呈、さわやかクラシックコンサートの開催、市村自然塾九州の支援などを実施し、地域のみなさまに好評をいただいております。地域企業としての役割を認識し、今後も地域社会に対する貢献活動を継続して実施してまいります。



市村自然塾九州



さわやかクラシックコンサート

● 環境推進活動

「人も環境もさわやかに。」をスローガンに、飲料ビジネスの未来を創造する企業として、地球環境保全を重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献しております。当期の主な活動としては、北九州市若松区のエコタウンにおいて廃棄自動販売機の処理を専門的に行う自己完結型リサイクルシステムの稼動を4月から開始しました。また、水資源保全に取り組むことは当社に求められる社会的責任と捉え、従来の4カ所に加えて広島県三原市の森林7haおよび兵庫県小野市の森林10haを「さわやか自然の森」と名付け、森林保全協定を締結しました。今後10年間わたって森林保全や遊歩道づくりなどを行ってまいります。



さわやか自然の森



廃棄自動販売機リサイクル施設

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第50期 (平成19年12月31日)	第51期 (平成20年12月31日)
(資産の部)		
流動資産:		
現金及び預金	19,567	18,592
受取手形及び売掛金	23,064	21,527
有価証券	19,407	4,559
たな卸資産	11,721	12,638
繰延税金資産	2,143	2,664
その他	15,420	22,208
貸倒引当金	△103	△116
流動資産合計	91,220	82,074
固定資産:		
有形固定資産:		
建物及び構築物	35,192	33,271
機械装置及び運搬具	20,181	17,553
販売機器	27,285	26,099
土地	56,709	56,082
建設仮勘定	672	1,097
その他	1,992	1,900
有形固定資産合計	142,033	136,005
無形固定資産:	4,719	4,449
投資その他の資産:		
投資有価証券	55,794	32,136
繰延税金資産	3,596	3,465
前払年金費用	12,732	13,307
その他	6,147	6,779
貸倒引当金	△572	△522
投資その他の資産合計	77,698	55,166
固定資産合計	224,452	195,622
資産合計	315,672	277,696

(単位:百万円)

科目	第50期 (平成19年12月31日)	第51期 (平成20年12月31日)
(負債の部)		
流動負債:		
支払手形及び買掛金	5,222	3,765
短期借入金	10,500	—
1年以内に返済する長期借入金	2,000	—
未払法人税等	3,270	2,769
未払金	13,638	13,977
設備支払手形	87	88
その他	7,380	5,164
流動負債合計	42,099	25,767
固定負債:		
繰延税金負債	9,040	7,446
退職給付引当金	5,180	5,394
役員退職引当金	65	7
負ののれん	1,452	1,037
その他	3,809	3,522
固定負債合計	19,548	17,407
負債合計	61,647	43,174
(純資産の部)		
株主資本:		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,074	109,073
利益剰余金	140,432	136,067
自己株式	△11,271	△25,756
株主資本合計	253,467	234,616
評価・換算差額等:		
その他有価証券評価差額金	488	△165
繰延ヘッジ損益	4	—
評価・換算差額等合計	492	△165
少数株主持分:	64	71
純資産合計	254,025	234,521
負債純資産合計	315,672	277,696

Point 1

負債純資産合計

借入金の返済(125億円)および自己株式の取得(144億円)などにより、前期末に比べ379億7千6百万円減少し、2,776億9千6百万円となりました。

Point 2

売上高、当期純利益

連結子会社売却などの影響を受け、売上高は前年同期に比べ139億6千5百万円減収(3.4%減)の3,955億5千6百万円となりました。当期純利益はグループ再編費用や保有国内株式の時価下落による投資有価証券評価損の計上もあり1億2千9百万円(98.6%減)となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第50期 (平成19年12月期)	第51期 (平成20年12月期)
●売上高	409,521	395,556
売上原価	234,313	231,624
売上総利益	175,208	163,931
販売費及び一般管理費	159,151	153,409
営業利益	16,056	10,521
営業外収益	2,433	1,531
営業外費用	996	1,004
経常利益	17,493	11,048
特別利益	671	732
特別損失	3,910	9,379
税金等調整前当期純利益	14,254	2,402
法人税等	4,866	2,260
少数株主利益	12	12
●当期純利益	9,375	129

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第50期 (平成19年12月期)	第51期 (平成20年12月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,000	16,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,306	2,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,586	△ 31,486
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	13,280	△ 13,152
現金及び現金同等物の期首残高	22,284	35,564
現金及び現金同等物の期末残高	35,564	22,412

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、161億8千万円のプラス(前年同期比51.0%減)となりました。売上高の減少などにより税金等調整前当期純利益が減少したことに加え、商品仕入に係る前渡金支払いの増加などにより、前期に比べ168億1千9百万円減少しております。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、21億5千3百万円のプラス(前年同期233億6百万円のマイナス)となりました。借入金返済や自己株式取得の原資とすべく当社保有の有価証券・投資有価証券を売却したことに伴い、収入が増加いたしました。また、前期において、南九州コカ・コーラボトリング株式会社に出資したことから、当期における支出が減少いたしました。これらの結果、前期に比べ254億5千9百万円のプラスとなりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、314億8千6百万円のマイナス(前年同期35億8千6百万円のプラス)となりました。当社および連結子会社の近畿コカ・コーラボトリング株式会社の借入金を全額返済し、資産圧縮に努めたことや、資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とすべく実施した自己株式の取得などにより、前期に比べ350億7千2百万円のマイナスとなりました。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

第51期 (平成20年12月期)	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成19年12月31日残高	15,231	109,074	140,432	△11,271	253,467	488	4	492	64	254,025
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△4,494	—	△4,494	—	—	—	—	△4,494
当期純利益	—	—	129	—	129	—	—	—	—	129
自己株式の取得	—	—	—	△14,510	△14,510	—	—	—	—	△14,510
自己株式の処分	—	△0	—	25	24	—	—	—	—	24
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△654	△4	△658	6	△652
連結会計年度中の変動額合計	—	△0	△4,365	△14,485	△18,851	△654	△4	△658	6	△19,503
平成20年12月31日残高	15,231	109,073	136,067	△25,756	234,616	△165	—	△165	71	234,521

自己株式取得のご報告

6,165千株、144億106万円の自社株買実施

資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため
当期において、6,165,900株、14,401,063,600円の自社株式の取得を行いました。



株主優待制度 (平成20年12月31日現在)

株主優待制度をポイント制に変更いたしました。

当社は、株主のみなさまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社へのご理解を深めていただくことを目的に株主優待制度を実施しておりますが、今般、株主優待制度の一層の充実をはかり、より魅力ある株主優待とするため、次のとおり変更を行っております。今後ともみなさま方のより一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

対象となる株主

毎年6月30日現在および12月31日現在において、当社株主名簿に記録された株主さまのうち、1単元(100株)以上を保有する株主さまを対象とします。(従来どおり)

株主優待の内容

<変更前>

ご所有株式数に応じて「コカ・コーラギフト券」を贈呈します。(年2回)
コカ・コーラギフト券1枚でコカ・コーラ社製品(500ml PET製品(一部の製品を除きます))4本とお引き換えいただけます。

<変更後>

ご所有株式数に応じて「株主優待ポイント」を贈呈します。(年2回)
株主優待ポイント(1ポイント60円相当)を利用してWebサイトまたは商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰め合わせセットや社会貢献活動への寄付などの商品と交換していただけます。

ご所有株式数	変更前	変更後
100株以上 500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚贈呈	株主優待ポイント 30ポイント贈呈
500株以上 1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚贈呈	株主優待ポイント 40ポイント贈呈
1,000株以上 5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚贈呈	株主優待ポイント 60ポイント贈呈
5,000株以上	コカ・コーラギフト券 12枚贈呈	株主優待ポイント 120ポイント贈呈

優待商品(例)

コカ・コーラ社製品詰め合せ

- コカ・コーラ12本セット
- コカ・コーラ ゼロ12本セット
- コカ・コーラ プラス12本セット
- コカ・コーラ詰合せ
- ファンタ ふるふるシェイカー詰合せ
など



Coca-Cola West グッズ

コカ・コーラウエストロゴ入りバスタオル



社会貢献活動への寄付



市村自然塾 九州への寄付

贈呈時期

6月30日を基準日とする株主優待につきましては同年9月頃、12月31日を基準日とする株主優待につきましては翌年4月頃に、対象の株主さまに対して株主優待ポイントを記載した「株主優待のご案内」を送付いたします。

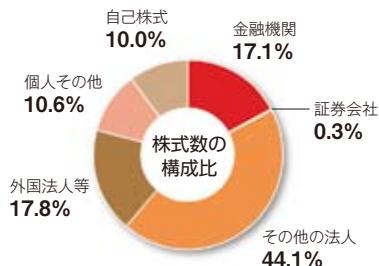
株式の状況 (平成20年12月31日現在)

発行可能株式総数	270,000 千株
発行済株式総数	111,125 千株
株主数	21,886 名

所有者別株式数の状況

	株主数 (名)	所有株式数 (千株)
■ 金融機関	64	19,001
■ 証券会社	33	310
■ その他の法人	469	49,012
■ 外国法人等	258	19,826
■ 個人その他	21,061	11,826
■ 自己株式	1	11,148
合計	21,886	111,125

〈株式数の構成比〉

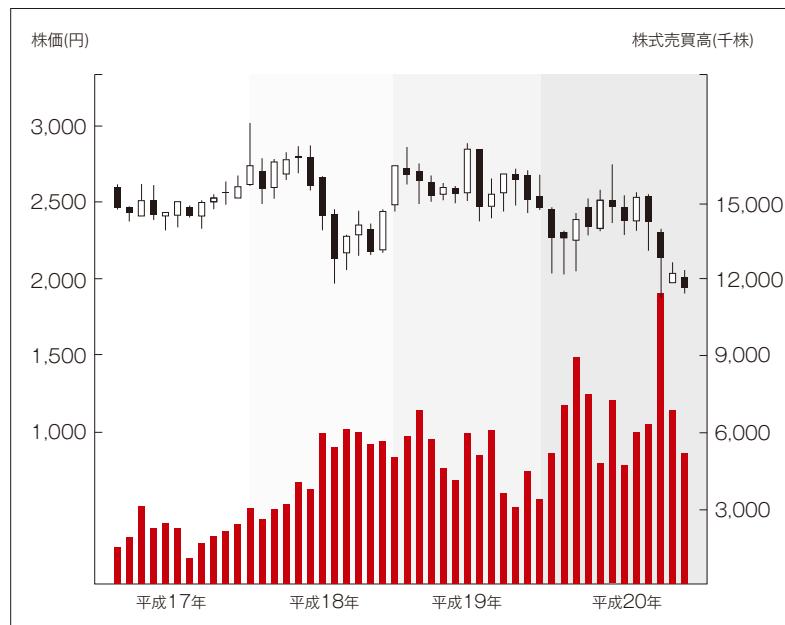


大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社リコー	16,792	16.9
キリンホールディングス株式会社	11,626	11.7
財団法人新技術開発財団	5,294	5.3
コカ・コーラホールディングス・ウエストジャパン・インク	4,074	4.1
三菱重工食品包装機械株式会社	3,912	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,703	3.7
株式会社西日本シティ銀行	3,703	3.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,957	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,871	2.9
ビービーエイチ493025ブラックロックグローバルアロケーション	1,623	1.6

(注) 当社は、自己株式11,148千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、議決権比率の算定にも含めておりません。

株価および株式売買高の推移



会社情報

会社概要

(平成21年1月1日現在)

商号	コカ・コーラウエスト株式会社
所在地 本店	福岡市東区箱崎七丁目9番66号
福岡本社	福岡市博多区住吉一丁目2番25号 キャナルシティ・ビジネスセンタービル
大阪本社	大阪市北区西天満四丁目15番10号 ニッセイ同和損保フェニックスタワー
設立	昭和35年12月20日
資本金	152億3千1百万円
連結従業員数	8,197名
主な事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売
上場証券取引所 (所属部)	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人福岡証券取引所

ホームページのご案内 <http://www.ccwest.co.jp/>



当社ホームページでは、株主・投資家のみなさまに向けて、IR情報、財務情報、IRイベントスケジュール、IR資料など、豊富な情報を掲載しております。見やすく、わかりやすく活用していただけるページ作りを力を入れておりますので、ぜひご利用ください。

◆IRニュースメール

ご登録いただいた方へIR情報サイトの更新や決算発表、ニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしております。

取締役・監査役・経営諮問委員会

(平成21年3月24日現在)

取締役

代表取締役	末吉 紀雄	社長兼CEO
代表取締役	吉松 民雄	副社長兼チーフオフィサー（最高営業責任者）
代表取締役	森田 聖	副社長兼チーフオフィサー（最高企画責任者）
取締役	柴田 暢雄	副社長兼チーフオフィサー（最高総務責任者）
取締役	太田 茂樹	専務執行役員チーフオフィサー（最高財務責任者）
取締役	宮木 博吉	専務執行役員 チェーンストア営業本部長
取締役	若狭 二郎	専務執行役員チーフオフィサー（最高SCM責任者）
取締役	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
取締役	マイケルケームス	日本コカ・コーラ(株) 代表取締役副社長 南九州コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役会長
取締役	本坊 幸吉	

監査役

常任監査役	原田 忠継	常勤
監査役	網塚 忠優	常勤
監査役	三浦 善司	(株)リコー 取締役 専務執行役員
監査役	佐々木 克	(株)西日本シティ銀行 代表取締役副頭取 弁護士
監査役	京兼 幸子	京兼法律事務所 代表

経営諮問委員会

委員長	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
委員	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ(株) 取締役会長
委員	松尾 新吾	九州電力(株) 代表取締役会長
委員	榎本 一彦	福岡地所(株) 代表取締役会長 ロイヤルホールディングス(株) 代表取締役会長
委員	埴 俊昭	三菱重工食品包装機械(株) 代表取締役社長
委員	石原 進	九州旅客鉄道(株) 代表取締役社長 弁護士
委員	松崎 隆	徳永・松崎・斉藤法律事務所 代表
委員	武藤 英二	(株)NTT データ経営研究所 取締役会長
委員	伊藤 邦雄	一橋大学 教授
委員	マイケルケームス	日本コカ・コーラ(株) 代表取締役副社長

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年3月開催
・定時株主総会	毎年12月31日
・期末配当金	毎年12月31日
・中間配当金	毎年 6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
(株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について)	証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
(特別口座について)	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.cwest.co.jp/koukoku/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

Coca-Cola West

コカ・コーラ ウエスト株式会社

〒812-8649 福岡市博多区住吉一丁目2番25号
キャナルシティ・ビジネスセンタービル
IR部 TEL 092-283-5724
<http://www.cwest.co.jp/>

